〇〇〇〇（演題名:MSゴシック 18pt）

－〇〇〇〇－（副題: MSゴシック 14pt）

○白井泰雪1, 原田慈久2 (MS 明朝 10.5pt、筆頭演者（発表者）の前に○印）

1東北大学未来科学技術共同研究センター, 2東京大学物性研究所

（以下本文、基本全てMS 明朝 10.5pt）

【緒言】ここに示すような小見出しをつけ、改行せずに本文を記載する。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○[1]。○○○○○○次の小見出しの前に改行を入れる。

【目的】句読点は全角ピリオド「。」と全角カンマ「、」を使う。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○。

【方法】英数字abcは半角に統一する。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○[2,3]。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

【結果】文字化けを防ぐために囲み文字、機種依存文字等の特殊文字を使用しない。○本文中に画像・図表を挿入する場合は原稿の範囲内とする。○○○○[4-6]○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【考察】抄録原稿のファイル名は必ず半角英数字、フルネームとする。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

【結言】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

キーワード：○○○、○○○、○○○（キーワードは任意で 3 つ程度、カンマで区切る）

（研究に用いたマイクロ・ナノバブル水）（以下を本文中または参考文献の前に必ず記載）

「気体の種類」、「粒径」、「密度」、「溶媒種あるいは製品名」

参考文献

[1] 参考文献名は抄録原稿の最後にまとめて記載。○○○○○○○○○○○○○○○○○

[2] 本文中での参照は該当部の末尾に上付き括弧[ ]で数字形式にて示す。○○○○○○○

[3] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[4] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[5] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[6] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○